はじめに

このたびは、東芝パーソナルコンピュータ EQUIUM（エクイアム）シリーズをお買いあげいただきまことにありがとうございます。
EQUIUM 5030シリーズは省スペースデスクトップ型コンピュータです。
本書は EQUIUM シリーズの取り扱い、注意事項などについてまとめた取扱説明書です。ご使用にあたっては、本書をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、一読されたあとも大切に保管し、必要なときにはすぐに取り出せるようにしてください。
また、ご購入のモデルによりシステム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

レーザー製品の取り扱いについて

・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

お願い
・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

製品寿命について

●本製品の内蔵バッテリの寿命は約３年です。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

お願い

●本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
●本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
●記憶装置（ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ）や、CD-R、CD-RW に記憶された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
●購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
●本製品でサポートしているシステム（OS）は次のとおりです。
・Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版
・Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版
上記以外は動作の保証を行なっておりません。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。
お使いになる前に本体同梱のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

Trademarks

・Intel、Pentium、Celeron、LANDesk は Intel Corporation の商標または登録商標です。
・PS/2 は米国 International Bussiness Machines Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windows、Bookshelf は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
・Adaptec、Easy CD Creator、DirectCD は Adaptec,Inc. の商標または登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

作業の進めかた

準備する

・梱包品を確認する
☞『付属品チェックリスト』
「1章 1 同梱品の確認」
・本製品を使用するうえでの注意事項を確認する
☞『安心してお使いいただくために』
・設置場所を決める
☞「1章 3 設置環境」

接続する

・ディスプレイ、キーボード、マウスなどを
パソコン本体に接続する
・電源コードを接続する
☞「1章 6 接続について」

電源を入れる

・ディスプレイ、パソコン本体の電源を入れる
☞『ディスプレイに付属の説明書』
「2章 1 電源の入れかた」

システムをセットアップする

・Windowsのセットアップをする
☞「2章 2 初めて電源を入れるときは」
Windowsの使いかたについては、各システムに付属の『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』または『Windowsのヘルプ』をご覧ください。

ソフトウェアを使う

・アプリケーションをインストールする
☞『アプリケーションに付属の説明書』

本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的にあわせて必要なところからお読みください。

1章　電源を入れる前に **（13ページ）**	本装置をお使いいただく前に知っておいてほしいこと、注意などについてまとめています。
2章　電源の入れかたと切りかた **（47ページ）**	電源の入れかた・切りかた、省電力機能について説明しています。
3章　システム機能の説明 **（73ページ）**	Windowsを操作するうえで、知っておくと便利な機能とその設定方法について説明しています。
4章　機器の拡張について **（83ページ）**	オプションを取り付ける場合のご注意と取り付け方法について説明しています。
5章　BIOSセットアップについて **（117ページ）**	ハードウェアセットアップの方法について説明しています。
6章　カスタム・リカバリCD／リカバリCDの使いかた **（141ページ）**	システムが動かなくなったときの復元方法について説明しています。
7章　困ったときは **（153ページ）**	「電源が入らない……」などの困ったときの対処方法について説明しています。
付録 **（163ページ）**	本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

参照マニュアル

●本装置で使用するオペレーティングシステム（OS）の説明については、『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』をご覧ください。

● Intel LANDesk Client Managerの説明については、次の方法でご覧ください。

Windows 98モデル　：Intel LANDesk Client Manager CD-ROM内の「Readme.doc」を開く

Windows 2000モデル：アプリケーションCD-ROMをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示された画面から「LANDesk Client ManagerのReadmeを開く」をクリックする

●ご購入のモデルによって、次のアプリケーションをご用意しています。

・Microsoft® Office XP Personal
・Easy CD Creator
・DirectCD

それぞれのアプリケーションの説明については、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

本書の読みかた

記号の意味

警 告 **・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。**

注 意 **・誤った取り扱いをすると、人が傷害*1 を負う可能性、または、物的損害*2 のみが発生する可能性のあることを示しています。**

＊1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。

＊2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

・知っておくと便利なことを説明しています。

☞ 参照先を示しています。
本書内の参照先は「　　」で示し、他の説明書の参照先は『　　』で示しています。

（注） 補足説明をしています。

画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = XXXX KB

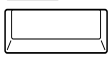
このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで示しています。

Y キーを押す ..... を押してください。

1 キーを押す ..... を押してください。

Space キーを押す .....  を押してください。

操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が１つで済む場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「＋」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム	特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。
Windows 98	Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。
Windows 2000	Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。
Windows	Windows 98、Windows 2000 を示します。
MS-IME	Microsoft® IME スタンダード 2002、Microsoft® IME2000、Microsoft® IME98 を示します。
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal を示します。
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard を示します。
DirectCD	DirectCD™ 3 を示します。
PCI LAN インタフェース	特に説明がない場合は、パソコン本体に実装されている 10BASE-T および 100BASE-TX 対応の LAN インタフェースを示します。
アプリケーション または アプリケーションソフト	アプリケーションソフトウェアを示します。
CD-ROM モデル	CD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。
CD-R/RW モデル	CD-R/RW ドライブが内蔵されているモデルを示します。

記載について

本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

機能と特長

ネットワークに対応

・Ethernet LAN（10BASE-T）、Fast Ethernet LAN（100BASE-TX）に対応

高解像度表示が可能

・デジタル RGB コネクタ（DVI 規格準拠のコネクタ）をオンボードで搭載
・アナログ RGB 接続時は最大 1600 × 1200 ドット（256 色）の高解像度表示が可能
デジタル RGB 接続時は最大 1280 × 1024 ドット（1677 万色）の高解像度表示が可能
（解像度、色数は、接続する表示装置により異なります。）
・3D グラフィック機能をサポート

すぐれたシステム性能

・Pentium III または Celeron の高性能 CPU を装備
・システムメモリに SDRAM を標準装備
・DIMM コネクタを 2 つ（内 1 つは標準メモリで使用、512MB モデルは 2 つとも使用）持ち、最大 512MB まで増設可能
・Pentium III モデルは 256kB、Celeron モデルは 128kB のセカンドキャッシュを標準装備
・Intel LANDesk Client Manager によりハードウェアの障害監視やソフトウェアのリソース管理をサポート（Windows 98 ／ 2000 対応）

☞ Windows 98 モデルのインストール方法
➪『Intel LANDesk Client Manager』 CD-ROM 内の「Readme.doc」

☞ Windows 2000 モデルのインストール方法
➪『アプリケーション CD』 CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットし、表示された画面から「LANDesk Client Manager の Readme を開く」をクリックして表示される画面

マルチメディアに対応

・CD-ROM ドライブまたは、CD-R/RW ドライブを標準で内蔵
・サウンド機能を標準で装備
・ストリーミング SIMD 拡張命令をサポート

高い拡張性

・PCI スロット（対応カードサイズ 106.68mm × 105mm）を 2 つ
Low Profile PCI スロット（対応カードサイズ 64.41mm × 150mm）を 1 つ装備
・PCMCIA TYPE Ⅱスロットを 1 つ装備

使いやすさ

・Windows 98 または Windows 2000 をインストール済み
・洗練されたデザインとイージーメンテナンスを実現

目次

はじめに 1
作業の進めかた 3
本書の構成 4
本書の読みかた 5
機能と特長 7
目次 8

1章　電源を入れる前に 13

1 同梱品の確認 14

2 各部の名称と機能 15

1 本体正面 15
2 本体背面 18
3 本体底面 20
4 マウス 20
5 キーボード 22

3 設置環境 24

1 設置場所について 24
2 電源について 24
3 健康のために 24

4 取り扱いについて 26

1 電源コードについて 26
2 ハードディスクドライブについて 26
3 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブについて 26
4 フロッピーディスクドライブについて 32

5 使用上のお願い 35

1 連続運転について 35
2 日常のお手入れと保管・運搬 35
3 消耗品 36
4 妨害電波・電圧について 37
5 修理・サービスについて 37
6 廃棄について 37

6 接続について 38

1 接続完成図 38
2 接続の順番 39
3 台座またはゴム足の取り付け 40
4 ディスプレイ（別売り）の接続 41
5 マウスの接続 44
6 キーボードの接続 45
7 電源コードの接続 45

2章　電源の入れかたと切りかた 47

1 電源の入れかた 48

2 初めて電源を入れるときは 49

1 Windows 98 のセットアップ 50
2 Windows 2000 のセットアップ 55
3 ユーザ登録をする 63

3 電源の切りかた 64

1 Windows 98 の電源の切りかた 64
2 Windows 2000 の電源の切りかた 65

4 省電力機能について 67

1 省電力機能について 67
2 省電力モードについて 68
3 省電力モードに移行させるには 69
4 省電力モードから復帰するには 72

3章　システム機能の説明 73

1 日本語入力システム MS-IME について 74

1 MS-IME ツールバーの表示 74
2 入力文字種の選択 75
3 MS-IME ツールバーの使用方法 76

2 インジケータ領域について 77

1 日本語入力インジケータ 77
2 音量インジケータ 77
3 日付と時刻の設定 77
4 画面インジケータ（Windows 98 モデル） 77

3 ディスプレイ解像度の変更 78

4 ドライバのインストールについて 80

4章　機器の拡張について 83

1 作業を始める前に 84

2 LANの接続 86

1 適正なケーブルの確認 86
2 LANケーブルの接続 86
3 テクニカル情報 87
4 Windows 98のネットワーク設定について 88
5 Windows 2000のネットワーク設定について 91

3 プリンタの接続 92

1 プリンタの接続 92
2 プリンタ設定について 93

4 PCカード 94

5 マイク（別売り）の接続 97

6 外部スピーカ（別売り）の接続 98

7 本体カバーの取りはずし／取り付け 99

1 本体カバーの取りはずし 99
2 本体カバーを取りはずしたところ 100
3 本体カバーの取り付け 101

8 オプションカード 102

1 拡張スロットの位置 102
2 オプションカードの外形図 103
3 オプションカードの取り付け 104
4 オプションカードの取りはずし 107

9 増設メモリカード 108

1 増設メモリカードの取り付け 109
2 増設メモリカードの取りはずし 112

10 内蔵バッテリの交換 114

5章 BIOSセットアップについて 117

1 BIOSセットアップとは 118

1 BIOSセットアップの起動方法 118
2 BIOSセットアップの操作方法 119
3 BIOSセットアップの内容 121

2 BIOSを工場出荷時設定に戻すには 122

3 Mainメニューの詳細 123

4 Advancedメニューの詳細 125

5 Securityメニューの詳細 135

6 Exitメニューの詳細 137

7 工場出荷時の設定値 138

6章 カスタム・リカバリCD／リカバリCDの使いかた... 141

1 カスタム・リカバリCD／リカバリCDとは 142

1 カスタム・リカバリCDとは（Windows 98モデル） 142
2 リカバリCDとは（Windows 2000モデル） 142

2 標準システムを復元する 143

1 準備 143
2 操作手順 143

3 最小構成でシステムを復元する（Windows 98モデル） 149

1 準備 149
2 操作手順 149

4 アプリケーションを再インストールする（Windows 98モデル） .. 152

1 操作手順 152

7章　困ったときは 153

1 困ったときのQ＆A 154

付録 163

1 製品仕様 164

1 仕様概要 164
2 外形寸法図 166
3 メモリマップ 167
4 I/O マップ 168
5 割り込みレベル・DMA チャネル 170

2 各インタフェース 172

1 アナログ RGB インタフェース 172
2 アナログ RGB インタフェースの同期信号 172
3 デジタル RGB インタフェース 173
4 シリアルインタフェース 173
5 パラレルインタフェース 174
6 キーボード・マウスインタフェース 174
7 USB インタフェース 175
8 拡張スロット（PCI タイプカード用） 175

3 エラーメッセージ 178

4 その他の設定 180

1 CD-R/RW モデル 180

1

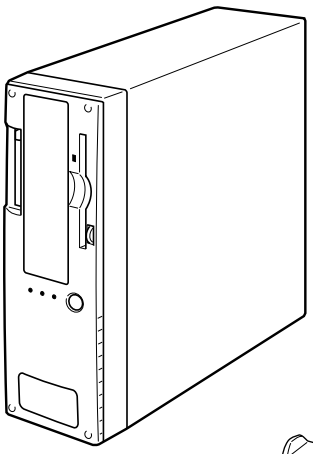
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

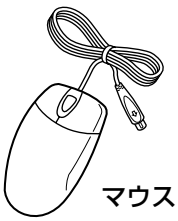
1 同梱品の確認 14
2 各部の名称と機能 15
3 設置環境 24
4 取り扱いについて 26
5 使用上のお願い 35
6 接続について 38

1 同梱品の確認

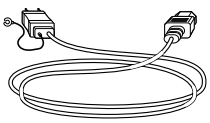
主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



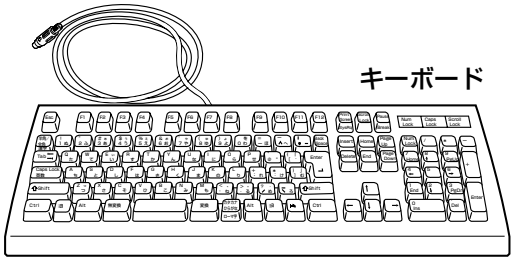
EQUIUM本体



マウス

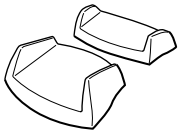


電源コード

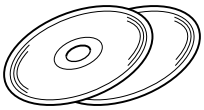


キーボード

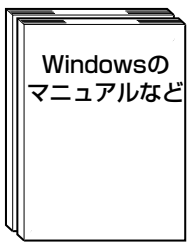
ゴム足（4つ）

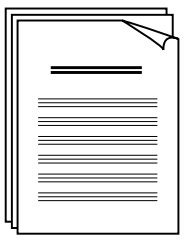


台座



リカバリ用CD-ROMなど
詳細は『付属品チェックリスト』をご覧ください。





その他の説明書、ご案内など
・安心してお使いいただくために
・保守サービスのご案内
・ソフトウェア使用許諾書
・付属品チェックリスト
・保証書
など

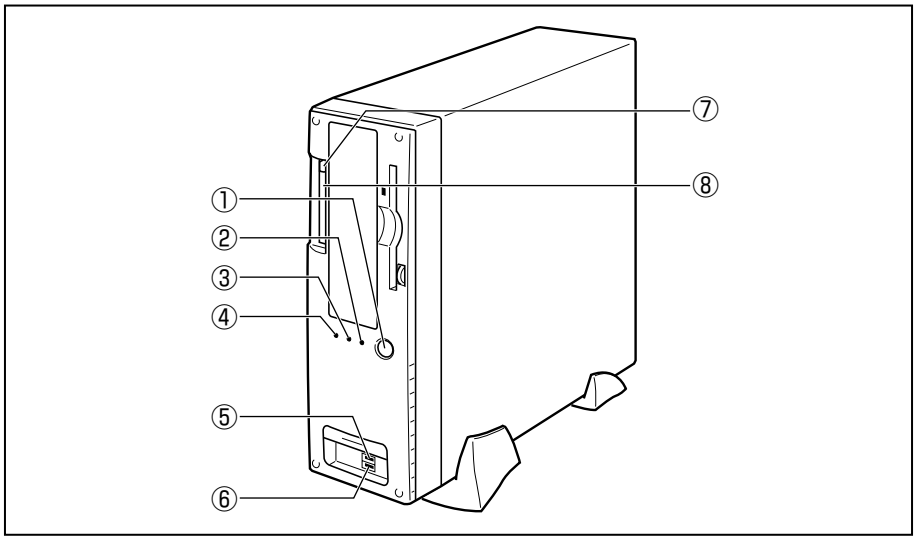
（注）この他にも、同梱物があります。『付属品チェックリスト』をご覧ください。

メモ

・Windows 2000 モデルに同梱されるアプリケーション CD には、Windows 2000 でご利用になれるドライバおよびアプリケーションが入っています。LDCM もアプリケーション CD に含まれています。アプリケーション CD の詳細については、アプリケーション CD を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。
・システムを Windows 98 から、Windows 2000 に変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応のドライバは東芝 PC 総合情報サイト［http://dynabook.com/］に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。

2 各部の名称と機能

1 本体正面



①電源スイッチ ⏻

パソコン本体の電源を入れるためのスイッチです。
電源を入れるときは、電源スイッチを押し、電源ランプが点灯したことを確認してから離します。
Windows が起動した状態で押すと、省電力モードになります。省電力モード時に押すと、通常モードに復帰します。４秒以上押し続けた場合は強制的に電源を切ります。
強制的に電源を切ると、作成中のデータは消失します。

注 意
- **スイッチ類を強く押し込まないでください。本体が壊れるおそれがあります。**
- **通常モードから省電力モードへの切り替えおよび省電力モードの解除には、多少時間がかかります（システムの状態によって異なります）。**

☞ 電源の入れかた／切りかたについて ➪「2 章 電源の入れかたと切りかた」

②電源ランプ

電源が ON のとき緑色に点灯します。
パソコン本体が省電力モードのときは緑色に点滅します。

お願い
・ディスプレイの画面が真っ暗でも、電源ランプが緑色に点滅している時は省電力モードになっています。電源スイッチを４秒以上押し続けると、電源が切れます。作成中のデータが消失するおそれがあるので、電源スイッチを４秒以上押さないでください。

☞ 省電力モードについて ➪「2 章 4 省電力機能について」

③HDD アクセスランプ

ハードディスクドライブの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

④LAN アクティブランプ

LAN に接続しているときに橙色に点灯します。

⑤USB コネクタ 1

USB 機器が接続できます。

⑥USB コネクタ 2

USB 機器が接続できます。

⑦PC カードレバー

レバーを押すと、PC カードを取りはずすことができます。

⑧PC カードスロット

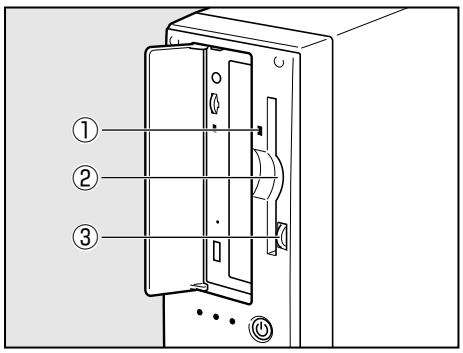
PC Card Standard TYPE Ⅰ / Ⅱに対応した PC カードを取り付けることができます。

☞ PC カードの取り付け／取りはずし ➪「4 章 4 PC カード」

フロッピーディスクドライブ

3.5 型 2HD、2DD 形式のフロッピーディスクが使用できます。

部分拡大図（本体正面）



①FDD アクセスランプ

フロッピーディスクの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

②ディスク挿入口

フロッピーディスクを挿入します。
取り出しは、イジェクトボタンで行います。

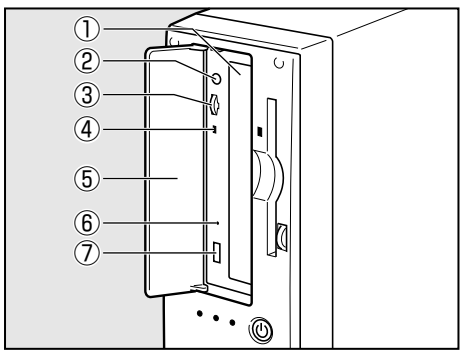
③イジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すとき、押します。

CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ

＊ご購入のモデルにより、異なります。

CD-ROM ドライブ部分拡大図（CD-ROM モデルの場合）



①ディスクトレイ

CD をセットする部分です。

②ステレオホンジャック

3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのヘッドホンかイヤホンを接続できます。
音楽 CD をアナログ再生しているときに CD サウンドが出力されます。

③ボリューム

②ステレオホンジャックから出力される CD サウンドの音量を調整できます。

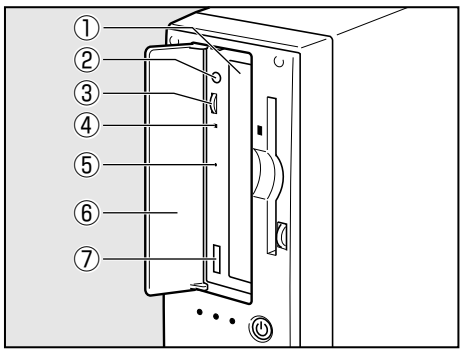
④ CD アクセスランプ
CD の読み取りが行われているときに、橙色に点灯します。

⑤ドライブドア

⑥イジェクトホール
故障などで電源が入らない場合、ディスクを強制的に出すときに使用します。
通常は使用しません。

⑦イジェクトボタン
ディスクトレイの出し入れのときに押します。

CD-R/RW ドライブ部分拡大図（CD-R/RW モデルの場合）



①ディスクトレイ
CD をセットする部分です。

②ステレオホンジャック
3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのヘッドホンかイヤホンを接続できます。音楽 CD をアナログ再生しているときに CD サウンドが出力されます。

③ボリューム
②ステレオホンジャックから出力される CD サウンドの音量を調整できます。

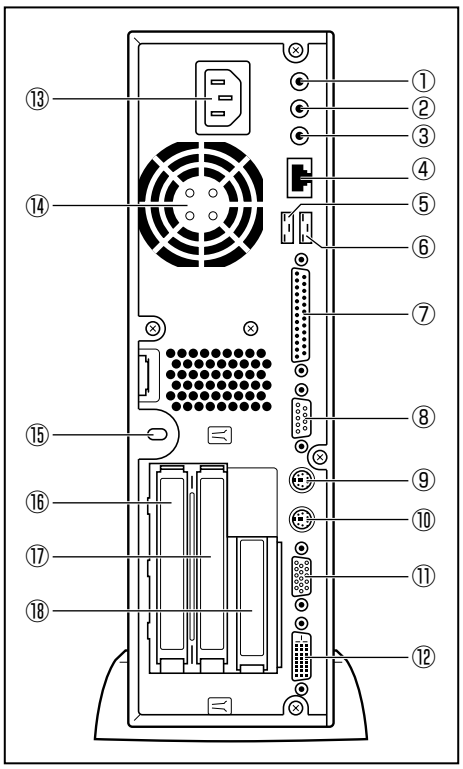
④ CD アクセスランプ
CD へのアクセスが行われているときに、橙色に点灯します。

⑤イジェクトホール
故障などで電源が入らない場合、ディスクを強制的に出すときに使用します。
通常は使用しません。

⑥ドライブドア

⑦イジェクトボタン
ディスクトレイの出し入れのときに押します。

② 本体背面



①マイク端子

3.5 φ mm モノラルミニジャックタイプのマイクが接続できます（本製品にマイクは付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください）。

☞ マイクの接続 ➪「4 章 5 マイク（別売り）の接続」

②LINE IN 端子

オーディオ機器などが接続できます。

③LINE OUT 端子

3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのスピーカが接続できます。
本製品にはモノラルのスピーカが内蔵されていますが、外部スピーカを接続した場合、内蔵スピーカからはサウンド出力されません（本製品には外部スピーカは付属していません。アンプ付き外部スピーカをお買い求めください）。

☞ 外部スピーカの接続 ➪「4 章 6 外部スピーカ（別売り）の接続」

④LAN コネクタ

LAN に接続できます。

☞ LAN の接続 ➪「4 章 2 LAN の接続」

⑤USB コネクタ 3

USB 機器が接続できます。

⑥USB コネクタ 4

USB 機器が接続できます。

⑦パラレルコネクタ（プリンタ）

プリンタが接続できます。

☞ プリンタの接続 ➪「4 章 3 プリンタの接続」

⑧シリアルコネクタ

RS-232C 規格の機器が接続できます。

⑨マウスコネクタ

付属の PS/2 マウスを接続します。

☞ マウスの接続 ➪「本章 6-5 マウスの接続」

⑩キーボードコネクタ

付属のキーボードを接続します。

☞ キーボードの接続 ➪「本章 6-6 キーボードの接続」

⑪アナログ RGB コネクタ

ディスプレイを接続します。

☞ ディスプレイの接続 ➪「本章 6-4 ディスプレイ（別売り）の接続」

⑫デジタル RGB コネクタ **DVI**

DVI 準拠のディスプレイをつなげるためのコネクタです。他社製デジタル RGB ディスプレイにつなげた場合、正常に表示できない場合があります。

☞ ディスプレイの接続 ➪「本章 6-4 ディスプレイ（別売り）の接続」

⑬電源コネクタ（AC POWER INLET）

電源コードを接続します。

☞ 電源の接続 ➪「本章 6-7 電源コードの接続」

⑭ファン（通風孔）

本体内部で発生する熱を放出します。ふさがないでください。

⑮セキュリティロックスロット

市販の盗難防止用チェーンロックなどを取り付けます。

⑯⑰PCI スロット

PCI 対応カード（106.68mm × 150mm）が取り付けられます。

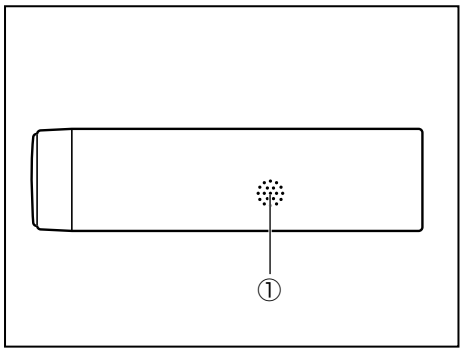
☞ 装着可能なオプションカード ➪「4 章 8 オプションカード」

⑱Low Profile PCI スロット

Low Profile 対応の PCI カード（64.41mm × 150mm）が取り付けられます。

☞ 装着可能なオプションカード ➪「4 章 8 オプションカード」

③ 本体底面

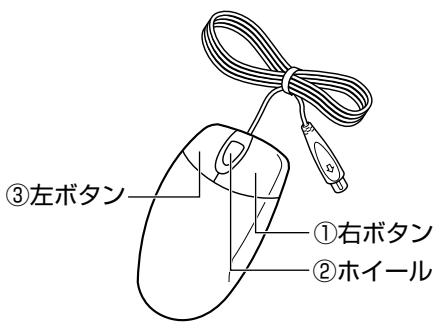


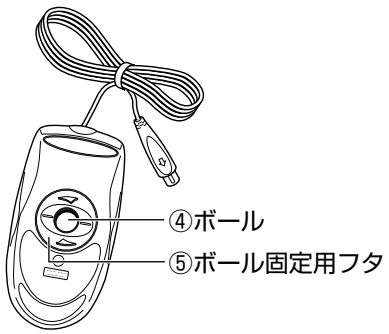
①内蔵スピーカ

サウンドが出力されます。
内蔵スピーカはモノラル再生で出力が小さいため、ボリュームを大きくした場合、再生音が震える（ひび割れる）ことがあります。CD や MIDI などの音楽を再生する場合は、アンプ内蔵の外部スピーカで再生することをおすすめします（本製品には外部スピーカは付属していません）。
LINE OUT 端子に外部スピーカを接続した場合、内蔵スピーカからサウンドは出力されません。

④ マウス

Windows は、画面に表示される「アイコン」「ボタン」「メニュー」などをマウスにより操作します。ここでは、マウスの使いかたについて説明します。
マウスは、本装置の電源を初めて入れたときに行う Windows セットアップから使用しますので必ずお読みください。





①右ボタン

操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

②ホイール

画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

③左ボタン

文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

④ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

⑤ボール固定用フタ

ボールが飛び出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

マウスの動かしかた

本装置を起動すると、画面上に矢印（ ）が表示されます。これを「マウスポインタ」といいます。

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。

マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。

お願い

・マウスは平らな机の上などで使用してください。
ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。
・左ボタン、右ボタンは、ボタンの中央付近を軽く押してください。
強く押すと、ドラッグ時にマウスポインタの動きが鈍くなったり、故障の原因となります。

マウスの操作方法

お願い

・マウスのボタンは、ボタンの上に指を置いて押してください。上からたたくように押すと、故障の原因になります。

●ポイント

画面上のマウスポインタの先端を目的の位置に移動させて置くことをいいます。

●クリック

マウスのボタンを1回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

●ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく2回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

●ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを移動させることをいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。また、画面上の「アイコン」などのオブジェクトをドラッグして、移動先でボタンを離すことを「ドラッグ アンド ドロップ」といいます。

●ホイールを回す

ホイールを前後に回す動作をいいます。

メモ

・マウスの使いかたは、標準状態であることを前提として書かれています。

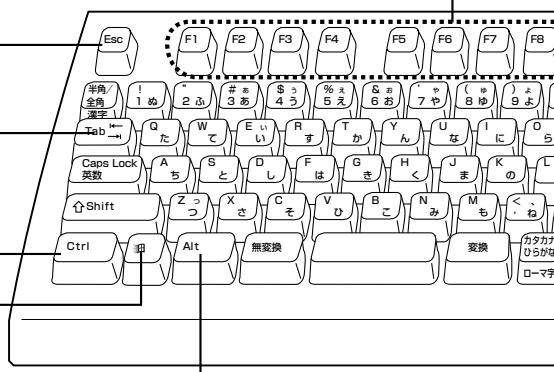
5 キーボード

本装置のキーボードは、106 日本語（A01）キーボード（Ctrl+ 英数）に Windows をより便利に使う Win（ウィンドウズ）キー、アプリケーションキーを追加した 109A キーボードです。

BackSpace（バックスペース）キー
カーソルが左に移動し、文字が削除されます。

F（ファンクション）キー　(F1～F12)
各アプリケーションソフトにより、いろいろな機能が割り当てられます。

Esc（エスケープ）キー
操作の取り消しなどに使用します。



Tab（タブ）キー
項目を移動するときなどに使用します。

Alt（オルト）キー
他のキーと組み合わせて使用します
（アプリケーションごとに機能が異なります）。

Win（ウィンドウズ）キー
他のキーとの組み合わせで、ショートカットとして使用できます。

アプリケーションキー
マウスの右ボタンをクリックすることと同様に動作します。

Enter（エンター）キー
操作を実行するときなどに使います。

Ctrl（コントロール）キー
他のキーと組み合わせて使用します（アプリケーションごとに機能が異なります）。

Print Screen（プリントスクリーン）キー
画面のハードコピーをクリップボードに一時的に貼り付けます。

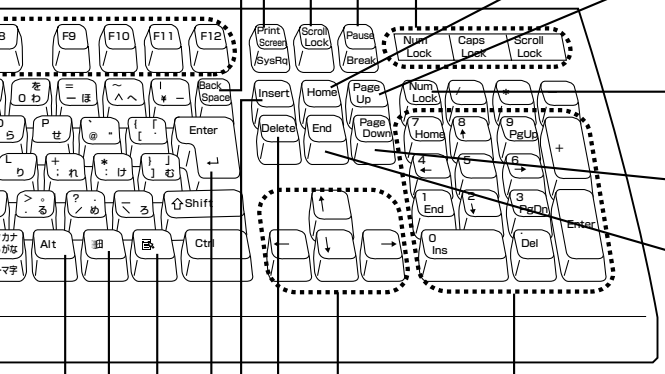
Scroll Lock（スクロールロック）キー
画面スクロールを禁止します。

Pause（ポーズ）キー
ハードコピーの出力など、操作を一時的に止めます。

インジケータ
Num Lock、Caps Lock、Scroll Lockの状態を示します。

Home（ホーム）キー
カーソルを行、または文書の最初に一度に移動します。

Page Up（ページアップ）キー
前の画面に切り替えます。



Num Lock（ナンバーロック）キー
テンキーを使用するときに押します。

Page Down（ページダウン）キー
次の画面に切り替えます。

End（エンド）キー
カーソルを行、または文書の最後に一度に移動します。

テンキー
Num Lockインジケータが点灯した状態で、
数字を入力することができます。

カーソルキー
カーソルを移動します。

Delete（デリート）キー
文字の削除などに使います。

Insert（インサート）キー
文字を挿入します。

3 設置環境

1 設置場所について

凹凸のない水平な場所で、十分なスペースを確保できる場所を選んで設置してください。特に通風孔のある背面は、少なくとも壁から 10cm 程度離すようにしてください。

お願い

・本体を横向きで設置、使用する場合は通風孔をふさがないでください。
誤動作や故障の原因となります。

次の範囲で、急激な温度変化を与えない（結露させない）ようにご使用ください。

温度	10℃～35℃
湿度	20%～80%Rh

2 電源について

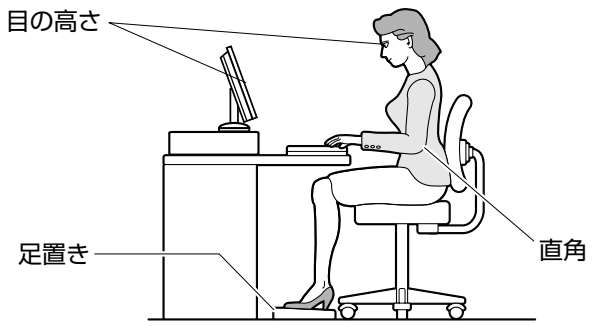
空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源をとらないでください。

定格電圧	AC100V（50Hz／60Hz）
消費電力	最大130W

3 健康のために

使用時の姿勢

●キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
●おしりよりも膝が少し高くなるように座る
●背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
●膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれに寄りかかったりしないでください。



（注）図はイメージ図です。本体には、20kg 以下のディスプレイ以外はのせられません。

使用方法

●リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
●適度に姿勢を変える
●時々立ち上がってストレッチをする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
●長時間画面を見続けないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
●1度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。
●ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する
☞『ディスプレイに付属の説明書』
●ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する
表示画面がホコリなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

4 取り扱いについて

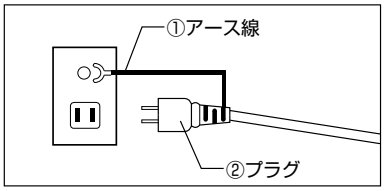
1 電源コードについて

電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火災・感電の危険があります。次のことを必ず守ってください。

注 意
・電源コードは、付属のアース線付き２ピンコードを使用してください。
・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておくと、万一漏電した場合の感電を防止します。安全のため、必ず接続してください。

お願い

・電源コードの接続は、①アース線、②プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ→アース線）で行なってください。
・コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
・コードの上に重いものを載せないでください。



・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。

2 ハードディスクドライブについて

お願い

・電源が入っている状態で本体に衝撃、振動を与えないでください。HDD アクセスランプが消灯していてもハードディスクドライブのヘッドはデータエリアにあります。
・パソコン本体の電源を切るとハードディスクドライブのヘッドが自動的に退避されます。ただしハードディスクドライブが停止するまでには、約 30 秒かかります。電源を切って 30 秒以上経過してから本体を移動してください。衝撃によってデータエリアを破壊するおそれがあります。

3 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブについて

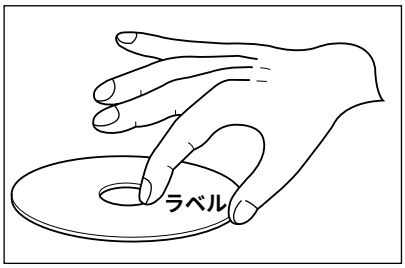
お願い

・CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
・CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの CD アクセスランプが点灯中は、CD を取り出さないでください。故障の原因となる場合があります。
・CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブを使用しないときは、必ず CD を取り出しておいてください。
・外側を切り欠いた CD など正常な円形ではない CD や、変形した CD、かたよった位置にラベルを貼った CD は使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。
・市販のレンズクリーナは使用しないでください。CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの故障の原因となります。

CDの取り扱い

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、保管してください。
- CDを持つときは、外側の溝か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
  ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

①音楽CD
8cm、12cmの音楽用CDが聴けます。

お願い
・本体を縦置きに設置している場合は、8cmのCDは使用できません。本体を横置きにして使用してください。

②フォトCD
③CD-ROM
使用するシステムに適合するISO9660フォーマットのもの
④CDエクストラ
⑤CD-R
⑥CD-RW

メモ
・ISO9660フォーマットとは、パソコンのシステム（OS）や機種が異なっていても共通に利用することができるCD-ROMのフォーマットであり、ISO（国際標準化機構）が1988年に定めました。

また、CD-R/RWモデルで書き込みできるCDは、次の種類です。

①CD-R（書き込みは1回）
②CD-RW

CD-R／CD-RW に書き込む

CD-R/RW モデルの場合、CD-R／CD-RW にデータを書き込むことができます。
書き込みを行うためのアプリケーションとして、Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」をご用意しています。ご使用の際はインストールしてください。
☞ インストールについて ➪「付録 4-1 CD-R/RW モデル」

CD-R／CD-RW に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。
守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。
本機に搭載している CD-R/RW ドライブには書き込みエラーを防ぐバッファーアンダーランエラー防止機能を内蔵していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態などによっては、処理が正常に行えず、エラーとなる場合があります。
書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。
また、記憶内容の変化・消失など、CD-R／CD-RW に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

メモ
・CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

書き込む前に

●CD-R は CD-R/RW ドライブの書き込み速度に対応しているものをご使用ください。
また、ご使用になる際は、次のメーカの CD-R をおすすめします。
太陽誘電（株）、TDK（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）、
リコー（株）、日立マクセル（株）、富士写真フイルム（株）、ソニー（株）
上記以外のメーカの CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

●CD-RW には 2 倍速対応、1 倍速～ 4 倍速対応、そして 4 倍速～ 10 倍速対応（High Speed CD-RW）があります。メディアの対応速度に合わせた速度で書き込みを行なってください。
また、ご使用になる際は、次のメーカの CD-RW をおすすめします。
CD-RW　：TDK（株）、三菱化学（株）、リコー（株）、日立マクセル（株）、
富士写真フイルム（株）、ソニー（株）
High Speed CD-RW ：三菱化学（株）、リコー（株）、日立マクセル（株）、
富士写真フイルム（株）
上記以外のメーカの CD-RW をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

●スクリーンセーバなどCPUに負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
●ウィルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
●常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化させるユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
●LANを経由しての書き込みは行わないでください。LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクドライブに保存してから書き込みを行なってください。
●「DirectCD」「Easy CD Creator」以外のCD-R／CD-RW書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
●書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。
☞ 省電力機能について ➪「2章 4 省電力機能について」
●書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。

書き込みを行うときは

●マウスを動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
●モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
●パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
●周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
●重要なデータについては、必ずデータ書き込み終了後に、データが正しく書き込まれたことを確認してください。

「Easy CD Creator」の設定

「Easy CD Creator」を使用して重要なデータを書き込む場合は、CDレイアウトプロパティで［書き込み後CD上のファイルを検証する］を設定してください。
正常に書き込まれていることを確認できます。
書き込み終了後、CD-R/RWドライブのディスクトレイが開き「CDレコーダにターゲットCDを投入してください」とメッセージが表示される場合があります。その場合は、そのままディスクトレイを閉めて［OK］ボタンをクリックしてください。
検証を開始します。
書き込みについての詳細は、「Easy CD Creator」または「DirectCD」のヘルプおよび『クイックリファレンス』をご覧ください。

CDのセットと取り出し

注 意　・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。CDのデータやCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが壊れるおそれがあります。

お願い

・CDのセットと取り出しは、電源ON時に行なってください。電源OFF時に行なっても、ディスクトレイの出し入れはできません。また、CDのセットと取り出しは、CDアクセスランプが消灯している状態で押してください。
故障などで電源が入らない場合は、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。
・本体を縦置きに設置している場合は、8cmのCDは使用できません。8cmのCDを使用するには、本体を横置きにして使用してください。
・本体を横置きに設置している場合は、ドライブドアの前にキーボードなどの障害物があると、ディスクトレイがイジェクトされないことがあります。ドライブドアの前に障害物を置かないようにしてください。

CDのセット

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブへCDをセットするには、次のように行います。

1 [マイコンピュータ]のCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［取り出し］をクリックする

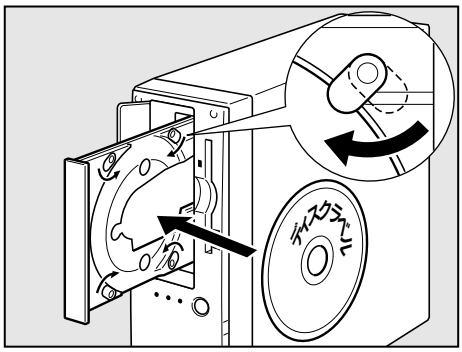
イジェクトされない場合は、次のように行なってください。
①ドライブドアを開く

お願い

・ドライブドアの根元にある金具は先が鋭くなっているので、触れないようにしてください。

②CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのイジェクトボタンを押す

2 CDディスクラベルを手前（横置きの場合は上側）にして、ディスクトレイに合わせる



3 縦置きの場合は、4つのディスクホルダを内側にしてCDをディスクトレイに固定する

CD-R/RWドライブの場合は、ディスクホルダはありませんが、CDをディスクトレイに入れれば落ちません。
また、縦置きに設置している場合は、8cmのCDは使用できません。8cmのCDを使用するには、本体を横置きにして使用してください。

4 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイの中央部を軽く押す

ディスクトレイが格納されます。

> ⚠ 注 意 ・手でディスクトレイを軽く押すときは、約 1kg 未満の力で押してください。無理に力を加えると、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが壊れるおそれがあります。

5 ディスクトレイが格納されたら、ドライブドアを閉じる

CD の取り出し

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブから CD を取り出すには次のように行います。

1 [マイコンピュータ] の CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［取り出し］をクリックする

イジェクトされない場合は、次のように行なってください。

①ドライブドアを開く

・ドライブドアの根元にある金具は先が鋭くなっているので、触れないようにしてください。

② CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す

2 縦置きの場合は、片方の手で CD を支えておきながら４つのディスクホルダを外側にして解除して、CD を取り出す

CD-R/RW ドライブの場合は、ディスクホルダはありません。

3 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイの中央部を軽く押す

ディスクトレイが格納されます。

> ⚠ 注 意 ・手でディスクトレイを軽く押すときは、約 1kg 未満の力で押してください。無理に力を加えると、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが壊れるおそれがあります。

4 ディスクトレイが格納されたら、ドライブドアを閉じる

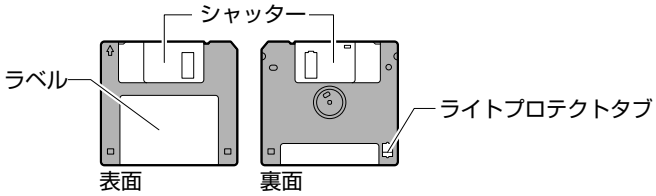
4 フロッピーディスクドライブについて

お願い

・フロッピーディスクドライブのFDDアクセスランプ点灯中は、データの書き込み、読み取り中です。アクセスランプ点灯中に次のことを行うと、フロッピーディスク内のデータが消失することがあります。
  ・フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押す
  ・パソコン本体の電源を切る
・フロッピーディスクドライブを使用しないときは、必ずフロッピーディスクを取り出しておいてください。

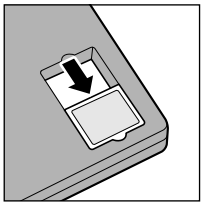
3.5型フロッピーディスク

フロッピーディスクには、大切な情報を保護するための書き込み保護機構がついています。これにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



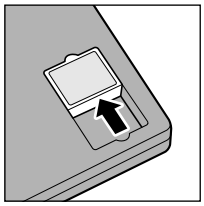
書き込み保護をセットするには

図のようにライトプロテクトタブを外側に移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み込みはできます。



書き込み保護を解除するには

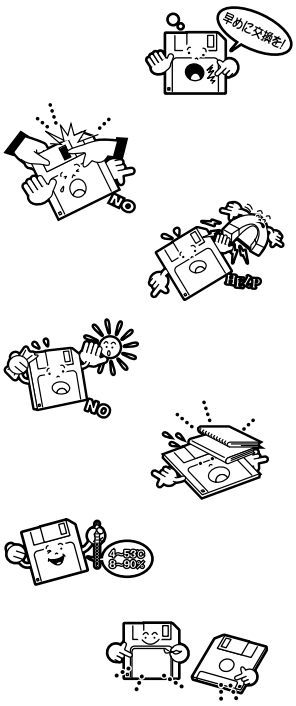
図のようにライトプロテクトタブを内側に移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み込みもできます。



なお、いずれの場合も「カチッ」と音がするまでライトプロテクトタブを移動させてください。

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。



- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
  フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部は開けないでください。また、磁性面には触れないでください。磁性面が汚れると使用できなくなります。
- 外部スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消失するおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に載せないでください。
- 次の範囲内の環境で保管してください。
  保管温度　4～53℃
  保管湿度　8～90%Rh
- ラベルは正しい位置に貼ってください。貼りかえるときは重ね貼りしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

●3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

フロッピーディスクがパソコン本体のフロッピーディスクドライブに正しく挿入されていないと、次のようなメッセージ画面が表示され、フロッピーディスクの読み書きができません。

・ドライブ A：にアクセスしたとき、「A:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません」などのメッセージ画面が表示される
・フォーマット済みのフロッピーディスクを挿入しても、「ドライブ A のディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

この場合は、［キャンセル］または［いいえ］ボタンをクリックして画面を閉じてください。そのあとフロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

フロッピーディスクのセット

1 フロッピーディスクの隅に書かれている矢印の向きに合わせて挿入する

「カチッ」と音がするまで挿入します。
正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。

フロッピーディスクの取り出し

1 フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押す

フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

お願い
・FDD アクセスランプが緑色に点灯しているときに、イジェクトボタンを押さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

5 使用上のお願い

1 連続運転について

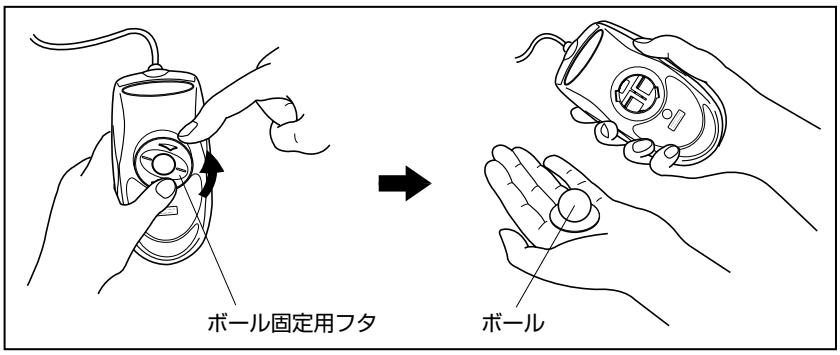
長時間の（24 時間を超えるような）連続運転をしないでください。
パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。
長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

2 日常のお手入れと保管・運搬

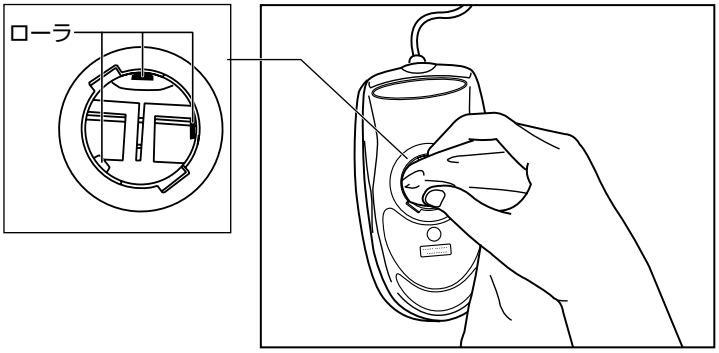
●本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。
●ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。また殺虫剤などをかけないようにしてください。
●梱包箱を保管しておくと輸送などに使用でき便利です。
●移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
●フロッピーディスクドライブは、市販のクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。
CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブは、市販のクリーナを使用しないでください。
●電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。
●キーボードのキーの下やすきまに入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
●マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

①パソコン本体の電源を切ってください。

②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



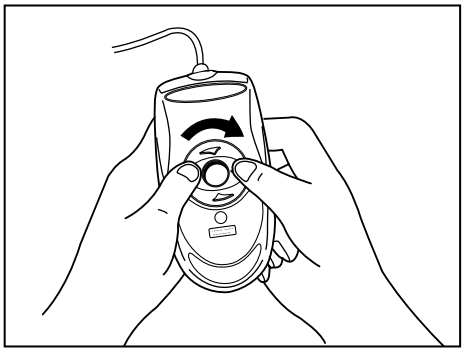
③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

⑥ボール固定用のフタを、矢印方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



お願い

・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

3 消耗品

内蔵バッテリの寿命は約３年です。交換の際は、市販のCR2032のリチウム電池を使用してください。

☞「4 章 10 内蔵バッテリの交換」

④ 妨害電波・電圧について

本装置はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準のクラスAに適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
●テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
●テレビ、ラジオから離す。
●テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
●受信機に屋外アンテナを使う。
●平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
●コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。
VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

⑤ 修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまたはお買いあげの販売店にご相談ください。

⑥ 廃棄について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。
また、本体を廃棄する場合も同様に地方自治体の条例、または規則に従ってください。

6 接続について

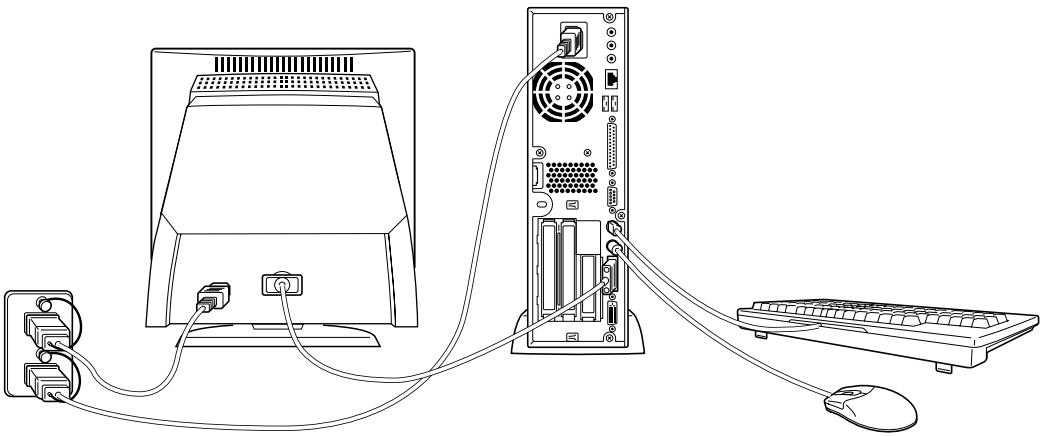
ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

・本体および接続する機器の電源を切るか、または電源スイッチを OFF にする
・ケーブル類の取り付け／取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
・コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定する
・プリンタやメモリ、LAN ケーブルなど、本体に添付されていない機器は、システムのセットアップが終了してから接続する

☞ システムのセットアップについて ➪「2 章 2 初めて電源を入れるときは」
☞ 添付されていない機器の接続について ➪「4 章 機器の拡張について」

1 接続完成図

EQUIUM を接続した例を次に示します。

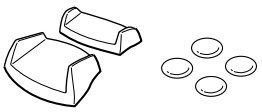


（注）EQUIUM にディスプレイは同梱されておりません。

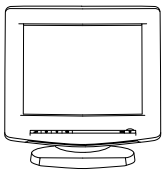
② 接続の順番

付属品を接続する場合は、次に示されている順番に従って、接続を行なってください。

1. 台座（またはゴム足）を本体に



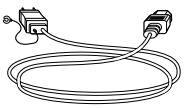
2. ディスプレイ（別売り）を本体と電源コンセントに



3. マウスを本体に

4. キーボードを本体に

5. 電源コードを本体と電源コンセントに
（注）最後に接続してください。



本装置の付属品を取りはずす場合は、本体の電源を切った後、それぞれの取りはずし方法に従って取りはずしてください。取りはずす際は、最初に電源コードを取りはずしてください。その後の順番は関係ありません。

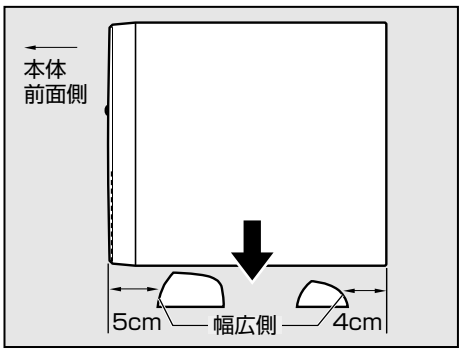
3 台座またはゴム足の取り付け

台座の取り付け

本体を縦置きで使用する場合は台座にのせて使用します。

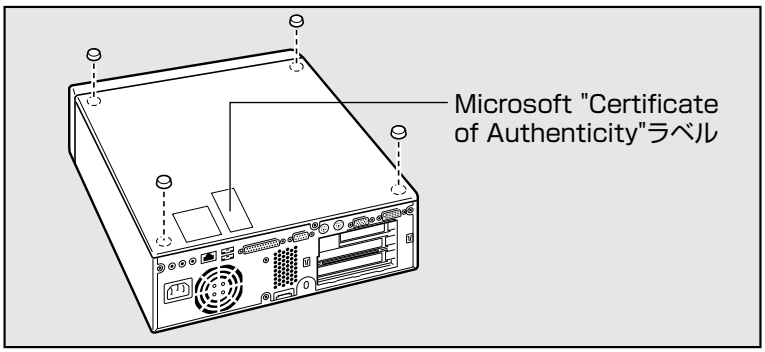
1 図のような向きに台座を置き、上から本体をのせる

台座は、横幅の広い方をそれぞれ外側にして、大きい方を前から5cm、小さい方を後ろから4cm程度を目安に置いてください。また、本体底面には内蔵スピーカがありますので、台座でスピーカをふさがないようにしてください。



ゴム足の取り付け

本体を横置きで使用する場合には、底面になる側（Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルが貼られている側）にゴム足を取り付けて使用します。
ゴム足は底面の四隅に取り付けます。



注 意
・本体を横置きに設置する場合は、次のことを必ず守ってください。故障の原因となります。
・20kg 以下のディスプレイ以外はのせないでください。
・コップ、花びんなどの液体の入った容器は絶対にのせないでください。

お願い
・本体を横置きに設置しているときは、ドライブドアの前にキーボードなどの障害物があると、ディスクトレイがイジェクトされない場合があります。ドライブドアの前に障害物を置かないようにしてください。

4 ディスプレイ（別売り）の接続

接続の際は『ディスプレイに付属の説明書』をご覧のうえ、作業を行なってください。
ディスプレイは必ず接続してください。

お願い

・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。
市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
・電源コードを接続する場合は、(1)アース線、(2)プラグの順に行なってください。

メモ

・アナログ RGB ディスプレイとデジタル RGB ディスプレイの同時表示はサポートしていません。

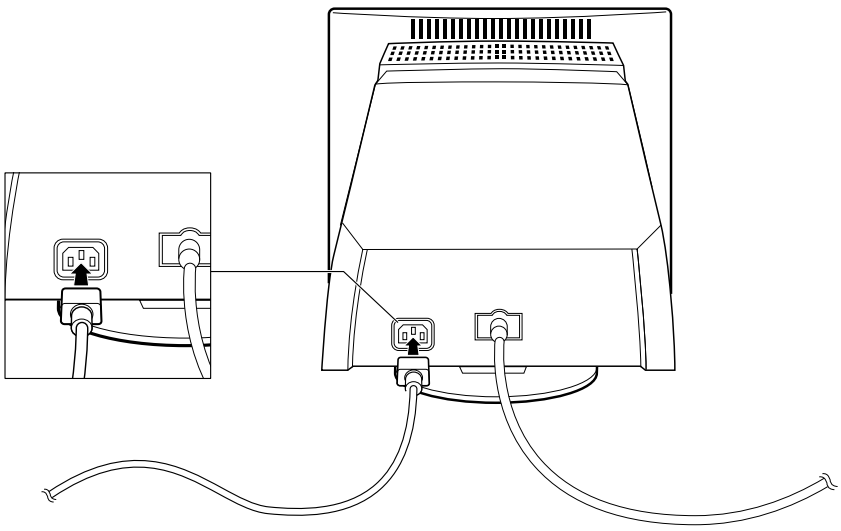
アナログ RGB ディスプレイの接続

ここでは別売りの 15 型カラーディスプレイ B（PVCRT15B）を例に取り付け／取りはずし方法を説明します。

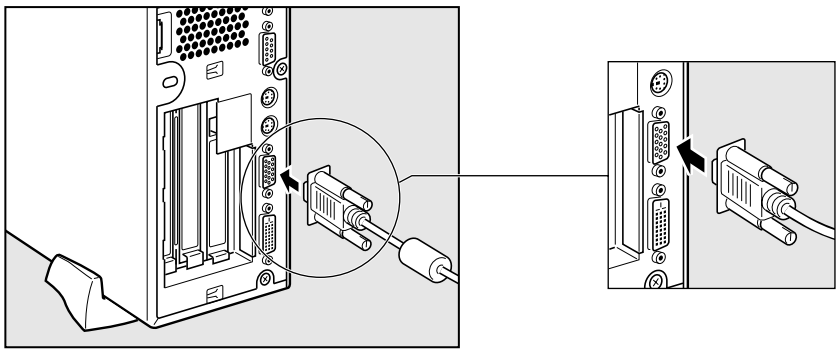
取り付け

1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する

2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



3 信号ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタ に接続し、固定用ネジを手で回して固定する

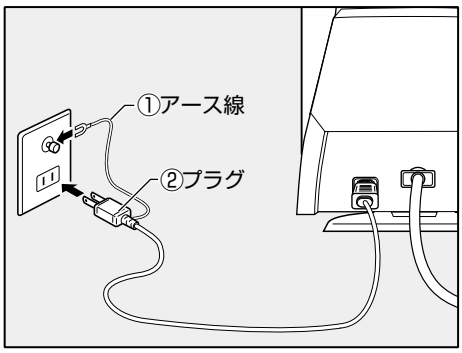


お願い

・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

4 電源コードのアース線をアース端子に接続する

5 電源コードのプラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む



注 意 ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

取りはずし

信号ケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。
電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。

注 意 ・信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがディスプレイコネクタから完全にはずれた状態で行なってください。
固定用ネジがディスプレイコネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

デジタルRGBディスプレイの接続

ここでは別売りの15型フラットパネルディスプレイK（PVLCD15K）を例に取り付け／取りはずし方法を説明します。
ディスプレイ側のコネクタ、ケーブルの接続については『ディスプレイに付属の説明書』をご覧ください。

メモ
・デジタルRGBディスプレイをご使用の場合の最大解像度は1280 × 1024となります。

取り付け

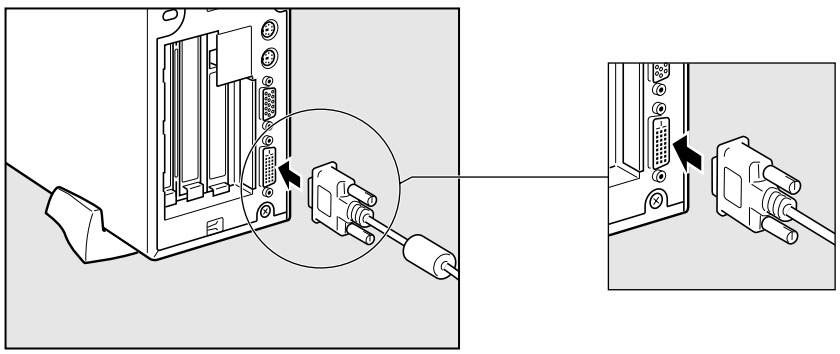
1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する

2 ACアダプタのプラグをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む

3 ACアダプタと電源コードを取り付ける

4 デジタルRGB信号ケーブルコネクタを本体背面のデジタルRGBコネクタDVIに接続し、固定用ネジを手で回して固定する

お願い
・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

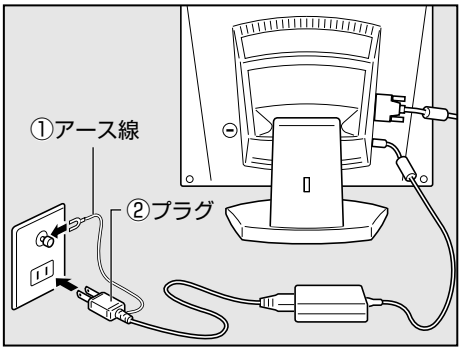


5 ディスプレイに付属のオーディオケーブルをディスプレイ背面のオーディオ端子と本体背面のLINE OUT端子 に接続する

メモ
・オーディオケーブルをLINE OUT端子に接続した場合は、本体内蔵スピーカからサウンド出力されません。
・ディスプレイの機種によっては、オーディオ端子がない場合があります。

5 電源コードのアース線をアース端子に接続する

6 電源コードのプラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む



⚠ 注 意 ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

取りはずし

デジタル RGB 信号ケーブル、オーディオケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。
電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。

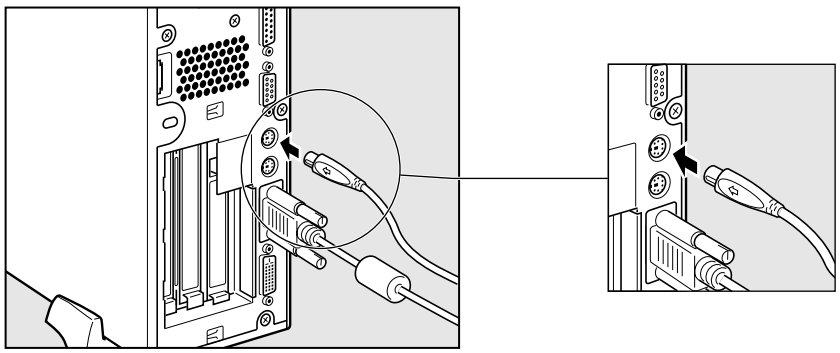
5 マウスの接続

⚠ 注 意 ・マウスの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となることがあります。

1 本体の電源が切断されていることを確認する

2 マウスのプラグを本体背面のマウスコネクタに差し込む

マウスは、プラグに印刷されている矢印マークを左にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



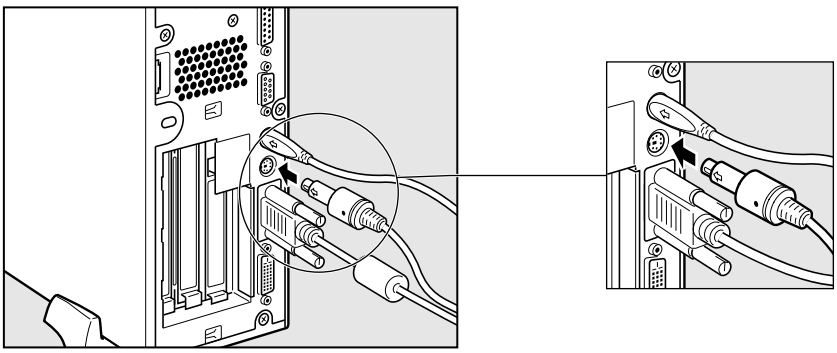
6 キーボードの接続

⚠ 注 意 ・キーボードの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となることがあります。

1 本体の電源が切断されていることを確認する

2 キーボードのプラグを本体背面のキーボードコネクタ ⌨ に差し込む

キーボードは、プラグに印刷されている矢印マークを左にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



7 電源コードの接続

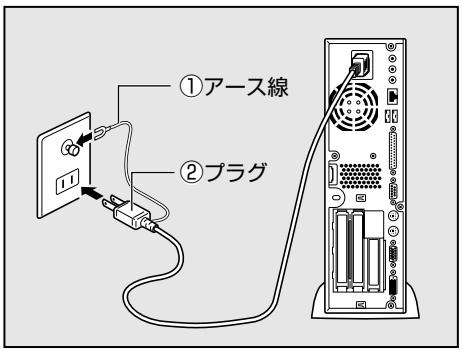
お願い ・電源コードの接続は、最後に行なってください。
・電源コードの接続は、アース線→プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ→アース線）で行なってください。

1 ディスプレイの電源が切断されていることを確認する

2 電源コードのプラグを本体背面の電源コネクタに差し込む

3 電源コードのアース線をアース端子に接続する①

4 プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む②



⚠ 注 意 ・電源コードは付属のアース線付き２ピンコードを使用してください。
・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておくと、万一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。

2

電源の入れかたと切りかた

本章では、パソコン本体の電源の入れかたと切りかたについて説明します。

1 電源の入れかた 48
2 初めて電源を入れるときは 49
3 電源の切りかた 64
4 省電力機能について 67

1 電源の入れかた

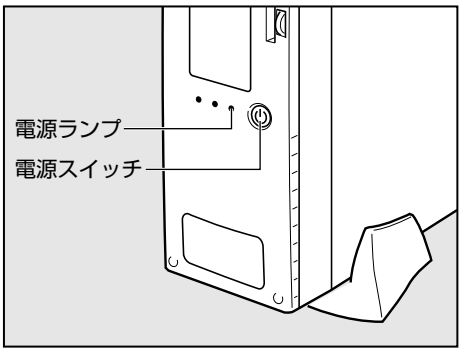
初めて電源を入れた場合は、システムのセットアップが始まります。
☞ セットアップ方法 ➪「本章 2 初めて電源を入れるときは」
周辺機器を接続して使用する場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。
☞ 周辺機器の電源の入れかたについて ➪『周辺機器に付属の説明書』

お願い
・プリンタやメモリ、LAN ケーブルなど、本体に付属していない機器は、システムのセットアップが終了してから接続してください。
☞ システムのセットアップについて ➪「本章 2 初めて電源を入れるときは」

1 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を入れる

2 本体前面の電源スイッチ ⏻ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ）が点灯します。本装置は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



メモ
・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行います。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。
☞ セルフテストでのエラーの対処方法について ➪「付録 3 エラーメッセージ」
・フロッピーディスクや起動可能な CD をセットしたまま電源を入れると、ハードディスクドライブからシステムが起動しません。
フロッピーディスクや CD を取り出して、もう 1 度電源を入れてください。

2 初めて電源を入れるときは

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。
1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。
本製品には、次のモデルがあります。

・Windows 98 モデル
・Windows 2000 モデル

セットアップの方法はシステムによって異なります。ご購入のモデルを確認のうえ、システムに応じたセットアップ手順をご覧ください。

注 意

・マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
・増設メモリやオプションカードを取り付けたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行なってください。
・セットアップを行うときは、LAN ケーブルは接続しないでください。LAN ケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
・システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
・やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。

お願い

・ケーブル類が確実に接続されていることを、もう 1 度確認してください。
・セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム（Windows 98 ／ 2000）やアプリケーションを使用することはできません。
・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。

メモ

・25 分以上キーを押さない（マウスの操作も含む）と、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。Shift キーなどを押すと画面に表示されます。また、電源ランプが緑色に点滅しているとき（スタンバイ状態）は、電源スイッチを押すと画面に表示されます（4 秒以上電源スイッチを押し続けると、電源が切れますので、短く押してください）。
・Windows 98 モデルの場合、起動に時間がかかることがあります。これは出荷時に LAN の設定がされているためであり、故障ではありません。
☞ 回避方法
➪ セットアップ終了後、［スタート］メニュー-［はじめに］-［リリース情報］
・カスタム・リカバリ CD やリカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

1 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは次のことを行います。

●ユーザー情報の登録

名前とふりがな（省略可能）を登録します。

●マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意する］を選択しないと、Windows を使用することはできません。

●日付と時刻の設定

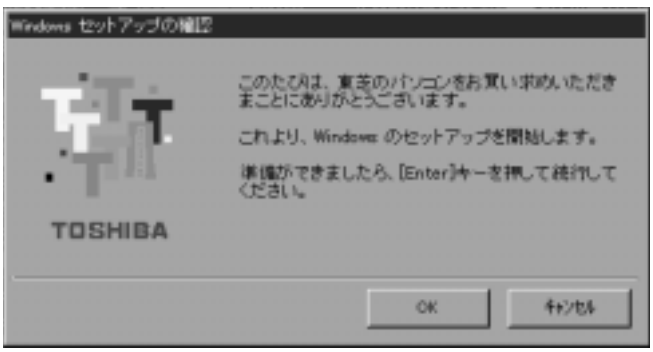
［日付と時刻のプロパティ］画面の［日付と時刻］タブで、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

お願い

・Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

セットアップの操作手順

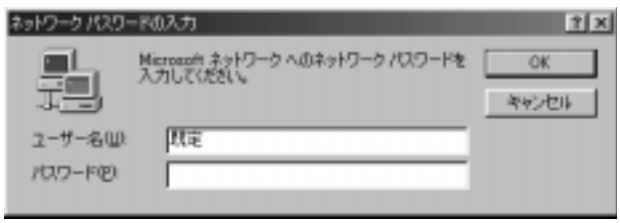
初めて電源を入れると、［Windows セットアップの確認］画面が表示されます。



1 Enter キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されます。



2 ユーザー名を入力する

Shift +Tab キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。
Delete キーを押して「既定」を削除します。
ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。
ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。Alt +半角／全角 キーを押してください。Office XP インストールモデルの場合は、半角／全角 キーを押すだけで起動します。

メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A とキーを押す
“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す
“なかた”で確定されます。
漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す
Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、Tab キーを押します。
パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。４～８文字を目安に設定してください。

入力したパスワードは「＊＊＊＊」で表示されます。
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、［OK］ボタンをクリックします。

［Windows パスワードの設定］画面が表示されます。

4 登録したパスワードをもう一度入力し、［OK］ボタンをクリックする

［ようこそ］画面が表示されます。

入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。

メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

1. Delete キーで［新しいパスワードの確認入力］のパスワードをすべて削除する
2. Shift ＋ Tab キーを押す
   カーソルが［新しいパスワード］に戻ります。
3. Delete キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
4. 新しいパスワードを入力する
5. Tab キーを押す
6. ［新しいパスワードの確認入力］に同じパスワードを入力する
7. ［OK］ボタンをクリックする

5 Escキーを押す

MS-IMEのチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合はMキーを押してください。
入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、［Windows 98へようこそ］画面が表示されます。

6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、Tabキーを押します。
ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム（MS-IME）を起動します。
Alt+半角／全角キーを押してください。Office XPインストールモデルの場合は、半角／全角キーを押すだけで起動します。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

［Windowsユーザー使用許諾契約］画面が表示されます。
契約内容を、必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、PageUpキー、PageDownキーを使って画面を動かしてください。
なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

8 **画面の［同意する］をチェック（左側の○印をクリック）して、［次へ］ ボタンをクリックする**

［セットアップの完了］画面が表示されます。

9 **［完了］ボタンをクリックする**

［日付と時刻のプロパティ］画面が表示されます。

10 **［日付］と［時刻］が正しく設定されているか確認する**

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、［適用］ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

11 **［タイムゾーン］で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する**

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

12 [閉じる] ボタンをクリックする

[日付]、[時刻]、[タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。
Windows のセットアップが終了し、Windows のデスクトップ画面が表示されます。

・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 3 ユーザ登録をする」

Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

2 Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 のセットアップでは、次のことを行います。

●マイクロソフト 使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

●ユーザー情報の登録
名前、会社名または組織名（省略可能）を登録します。

●コンピュータ名の指定
使用するコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力します。
コンピュータ名は自動で作成されます。変更することもできます。
コンピュータ名の付けかたに関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

●日付と時刻の設定
[日付と時刻の設定] 画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

●ネットワークの設定
ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。
ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

・Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

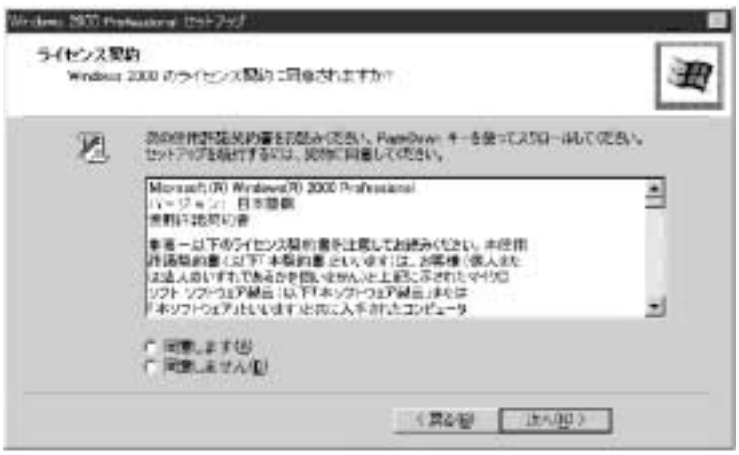
お願い

・初めて電源を入れると、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。
ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

初めて電源を入れると、［Windows 2000 セットアップウィザードの開始］画面が表示されます。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

［ライセンス契約］画面が表示されます。
契約の内容を必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか PageUp キー、PageDown キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



2 画面下部の［同意します］をチェックして［次へ］ボタンをクリックする

メモ

・［同意しません］を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

［ソフトウェアの個人用設定］画面が表示されます。

3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 Tab キーを押します。

メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A **とキーを押す**

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す

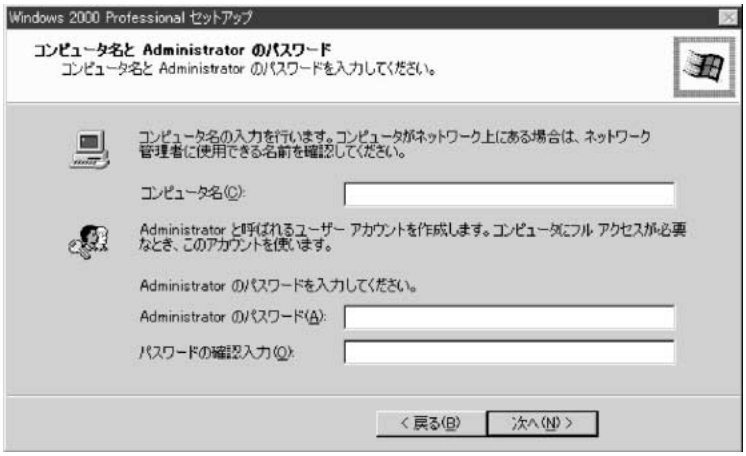
“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。

お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。

7 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。

9 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。

メモ

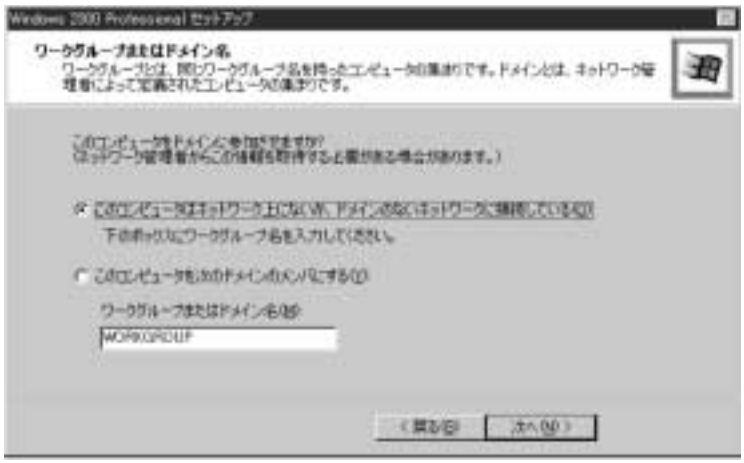
・標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
・カスタム設定：手動でネットワークコンポーネントを構成することができます。

お願い

・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。
選択後、［ワークグループまたはドメイン名］にワークグループ（ドメイン）名を入力してください。

お願い

・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

12 ［次へ］ボタンをクリックする

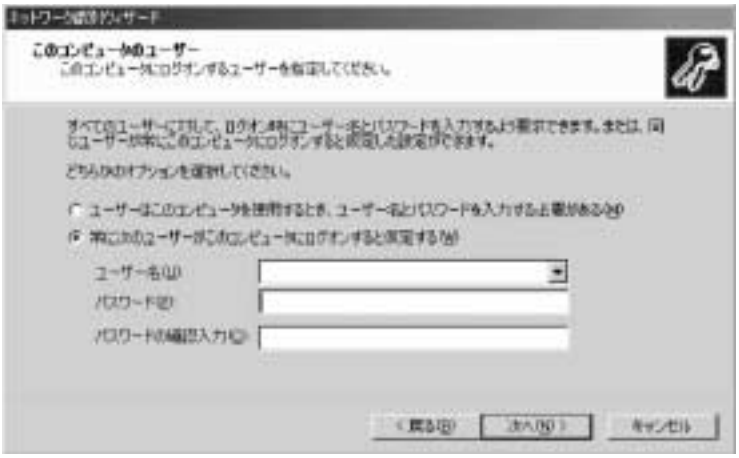
設定の保存後、［Windows 2000 セットアップウィザードの完了］画面が表示されます。

13 ［完了］ボタンをクリックする

再起動します。再起動後に［ネットワーク識別ウィザードの開始］画面が表示されます。
ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。

14 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



15 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

●「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」

..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

●「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」

..... 指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順３で入力した名前、あるいは Administrator です。

▼ボタンをクリックして選択してください。

16 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。

17 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000のセットアップを完了しました。
手順15で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…」を選択した場合、[Windowsへログオン] 画面が表示されます。Administratorのパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックすると、Administratorでログオンし、[Windows 2000の紹介] 画面が表示されます。
手順15で「常に次のユーザーがコンピュータに…」を選択した場合、指定されたユーザ（Administratorまたは例：中田）で自動的にログオンし、[Windows 2000の紹介] 画面が表示されます。

メモ

・[Windows 2000の紹介] の下部にあるチェックボックス（スタートアップ時にこの画面を表示）をクリックしてチェックを解除すると、次にWindows 2000が起動したときは [Windows 2000の紹介] は表示されません。
☞ [Windows 2000の紹介] 画面を再表示する方法 ➪『Windows 2000のヘルプ』
・ご購入時は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
C ドライブ：ハードディスクドライブの全領域（NTFS）
・東芝とMicrosoft社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 3 ユーザ登録をする」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、『マイクロソフト ウィンドウズ2000 プロフェッショナル クイックスタートガイド』、または [スタート] -[ヘルプ] をクリックして、『Windows 2000のヘルプ』をご覧ください。

3 ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。いずれもインターネットで登録する場合は、モデムなどが必要です（本製品はモデムを搭載しておりません）。
また、インターネットをご利用になるにはプロバイダとの契約が必要です。
LANを使ってインターネットをご利用になる場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

東芝へのユーザ登録

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm

マイクロソフト社へのユーザ登録

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録できます。

● Windows 98の場合

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［Windowsへようこそ］で［今すぐ登録］をクリックする

メモ

・Windows 98の場合は、［Windows 98へようこそ］を1度表示すると、Windowsが起動するたびに表示されるようになります。
この場合、［Windowsを起動するたびにこの画面を表示する］のチェックボックスをクリックしてチェックを解除すると、次に起動したときからは［Windows 98へようこそ］は表示されません。

● Windows 2000の場合

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［はじめに］で［今すぐ登録］をクリックする

3 電源の切りかた

電源を切る方法はシステムによって異なります。
お使いのシステムを確認のうえ、次の手順に従って電源を切ってください。

電源切断時のお願い

●電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。
なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを４秒以上押し続けると電源が切れます。その際、データは消失する可能性があります。
●電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、５秒以上たってから入れてください。５秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
●アプリケーションが起動しているときは、終了処理を行なってシステムに戻してください。
☞『各アプリケーションに付属の説明書』

1 Windows 98 の電源の切りかた

1 HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプが消えていることを確認する

フロッピーディスクがセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。

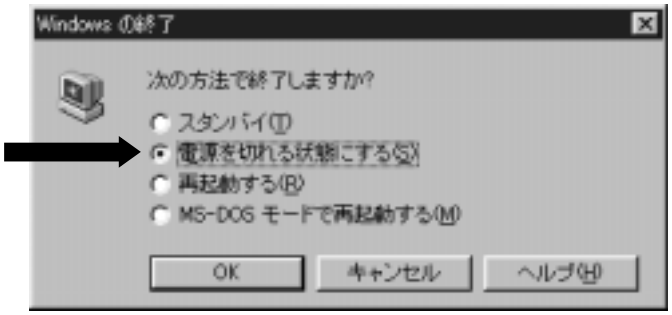
2 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使用していないことを確認する

CD を使用しているアプリケーションがあれば、終了してください。
また、CD がセットされている場合は、取り出してください。

3 [スタート] ボタンをクリックし①、[Windows の終了] をクリックする②

[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により、異なる場合があります。

3 ［電源を切れる状態にする］が選択されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックする



4 ディスプレイなどの、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

② Windows 2000 の電源の切りかた

1 HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプが消えていることを確認する

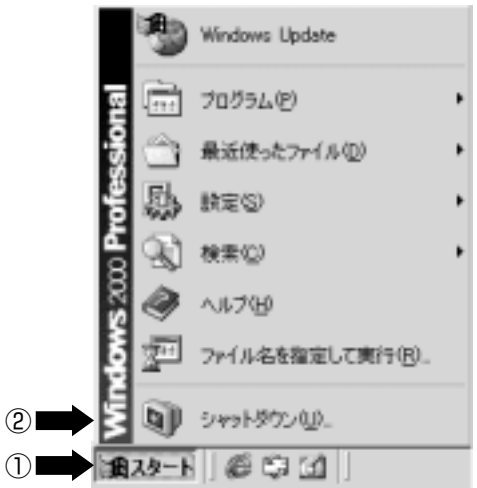
フロッピーディスクがセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。

2 CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使用していないことを確認する

CD を使用しているアプリケーションがあれば、終了してください。
また、CD がセットされている場合は、取り出してください。

3 ［スタート］ボタンをクリックし①、［シャットダウン］をクリックする②

［スタート］メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により、異なる場合があります。



4 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

5 ディスプレイなどの、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

4 省電力機能について

1 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。
省電力モード中は、次の状態になります。

・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、1 度省電力状態を解除してから Windows を終了してください。

	本体の電源ランプ	システム／アプリケーション
システムが省電力モード（スタンバイ状態）のとき	緑色に点滅	停止する
ディスプレイが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
ハードディスクドライブが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
休止状態のとき（Windows 2000のみ）	消灯	停止する

本装置にあらかじめインストールされている Windows には、省電力機能が用意されています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本装置と Windows の省電力機能について簡単に紹介します。

2 省電力モードについて

本装置にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

ディスプレイ	画面表示が消えます。
ハードディスクドライブ	モータの回転を停止します。
オプションカード	停止します。 （＊カードによっては本装置を再起動するなどして初期化が必要になります。）
LAN接続 （ネットワークへの接続）	切断します。

スタンバイ（Windows 98／2000）

本装置の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。
スタンバイはBIOSセットアップの［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］で、次のように設定を切り替えることができます。

・［S1/POS］（Power On Suspend）.... ハードディスクドライブ、ディスプレイ、オプションカードなどの周辺機器の電源を切断します。
・［S3/STR］（Suspend To RAM）..... メモリ以外の電源を切断します。

メモ

・BIOSセットアップの［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］の工場出荷時は［S3/STR］に設定されています。［S3/STR］の方が消費電力を抑えることができますが、PCIスロットもしくはUSBコネクタに接続したデバイスによっては正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードに復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、［ACPI Standby State］を［S1/POS］に切り替えてください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。

☞ BIOSセットアップについて ➪「5章 BIOSセットアップ」

休止状態（Windows 2000のみ）

本装置の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。

3 省電力モードに移行させるには

Windows 98

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モード（スタンバイ）に移行します。
スタンバイモードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

システムの省電力機能

1 ［コントロールパネル］を開き、［電源の管理］アイコンをダブルクリックする

2 ［電源の管理のプロパティ］の［電源設定］タブの［システムスタンバイ］で時間を選択する

初期値は［25 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

・システムをスタンバイモードにすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手動でシステムをスタンバイモードに移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
①［スタート］ボタンをクリックし、［Windows の終了］をクリックする
②［スタンバイ］をクリックし、［OK］ボタンをクリックする

●電源スイッチを短く押す
電源スイッチを短く押すことによってスタンバイモードに移行することができます。電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。なお、［コントロールパネル］の［電源の管理］の［詳細］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］が［スタンバイ］になっている場合のみ、この機能は有効です。
初期値は［スタンバイ］です。

ディスプレイの省電力機能

1 ［コントロールパネル］を開き、［電源の管理］アイコンをダブルクリックする

2 ［電源の管理のプロパティ］の［電源設定］タブの［モニタの電源を切る］で時間を選択する

初期値は［15 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

ハードディスクドライブの省電力機能

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源の管理］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源の管理のプロパティ］の［電源設定］タブの［ハードディスクの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［20 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

Windows 2000

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モードに移行します。
省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

システムの省電力機能

Windows 2000 のシステムの省電力機能には、スタンバイモードと休止状態があります。

●スタンバイモード

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システムスタンバイ］で時間を選択する**

初期値は［25 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

・システムをスタンバイモードにすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手動でシステムをスタンバイモードに移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
① ［スタート］ボタンをクリックし、［シャットダウン］をクリックする
② ドロップダウンリストから［スタンバイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

●電源スイッチを短く押す
電源スイッチを短く押すことによってスタンバイモードに移行することができます。
電源スイッチを４秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。なお、［コントロールパネル］の［電源の管理］の［詳細］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］が［スタンバイ］になっている場合のみ、この機能は有効です。
初期値は［スタンバイ］です。

●休止状態

1 ［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする

2 ［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システム休止状態］で時間を選択する

初期値は［なし］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

メモ
・システムを休止状態にすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。
・［システム休止状態］が表示されていないときは、［休止状態］タブの［休止状態をサポートする］をチェックして［適用］ボタンをクリックしてください。なお、工場出荷時は［休止状態をサポートする］はチェックされています。

手動でシステムを休止状態に移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
① ［スタート］ボタンをクリックし、［シャットダウン］をクリックする
② ドロップダウンリストから［休止状態］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

●電源スイッチを短く押す
電源スイッチを短く押すことによって休止状態に移行することができます。
電源スイッチを４秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。なお、［コントロールパネル］の［電源の管理］の［詳細］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］を［休止状態］にする必要があります。
初期値は［スタンバイ］です。

ディスプレイの省電力機能

1 ［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする

2 ［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［モニタの電源を切る］で時間を選択する

初期値は［15 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

ハードディスクドライブの省電力機能

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［ハードディスクの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［20 分後］です。
省電力機能を使用しない場合は、［なし］を選択してください。

4 省電力モードから復帰するには

スタンバイモードからの復帰

システムのスタンバイモードから復帰するには、次の操作を行なってください。

●キーボード入力をする
●電源スイッチを短く押す

ディスプレイまたはハードディスクドライブのスタンバイモードから復帰するには、次の操作を行なってください。

●キーボード入力をする

・BIOS セットアップの［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］が［S1/POS］に設定されているときは、上記のほかに、マウスを動かすことによってスタンバイモードから復帰することもできます。

休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。